

1. 全世代で「渋谷」を好きという人が過半数を越える

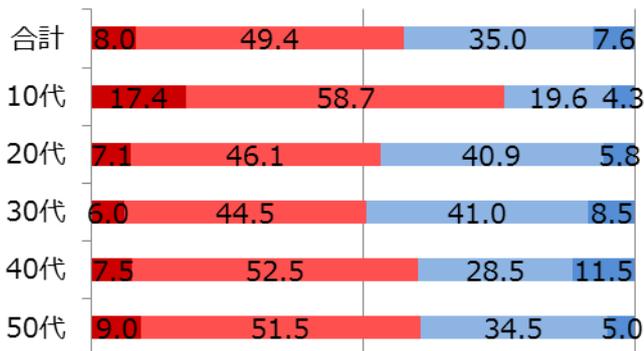
イメージは「昼の街」？ 行く目的の1位は「ショッピング」、「飲みに行く」は4位

最初に「渋谷」が単純に好きか・嫌いについて聞いてみました。その結果、「とても好き」もしくは「やや好き」と答えた人が57.4%と過半数を越えています。世代別にみると、特に10代で76.1%と特に高い数字になっており、「若者の街」を示す結果になっておりますが、一方で、40代、50代でも60%に達しており、全ての世代で過半数を越えていました。【グラフ①】

そんな渋谷に行く目的として最も多いのは「ショッピング」となっており、67.1%があげています。次いで「友達と遊ぶ」42.4%、「一人でぶらぶら」29.1%となっています。その後「飲みに行く」が続きますが、25.4%にとどまっており、どちらかというと、「夜の街」より「昼の街」とのイメージが強いことが伺えます。【表①】

【グラフ①】渋谷が好きか

n=800



■ とても好き ■ やや好き ■ あまり好きではない ■ 好きではない

【表①】渋谷へ行く目的トップ5（複数回答可）

n=800

目的	支持率
ショッピング	67.1%
友達と遊ぶ	42.4%
一人でぶらぶら	29.1%
飲みに行く	25.4%
映画を観に行く	21.1%

2. 生活者が思う「渋谷から生まれた流行・文化」の1位は「SHIBUYA 109」 「渋谷を象徴するアーティスト」は、安室奈美恵さん

次に渋谷の文化発信基地としての側面から、渋谷を象徴する文化について聞いています。まず最も「渋谷から生まれた流行・文化」と思うものを尋ねたところ、1位は「SHIBUYA 109」でした。全体の22.9%を占めており、若者文化の象徴として流行を全国に発信してきた「SHIBUYA109」の存在感の大きさが明らかになりました。【表②】

また、最も「渋谷を象徴するアーティスト」としては、18.9%を占めた安室奈美恵さんが1位となっております。ついで2位に小沢健二さん、3位に浜崎あゆみさんが入りました。【表③】

【表②】「渋谷から生まれた流行・文化」と最も思うものトップ5

n=800

目的	占有率
SHIBUYA 109	22.9%
渋谷系	13.0%
コギャル	10.1%
ガングロギャル	9.5%
渋谷カジ	9.1%

【表④】最も「渋谷を象徴するアーティスト」と思うものトップ5

n=800

目的	占有率
安室奈美恵	18.9%
小沢健二	12.9%
浜崎あゆみ	10.1%
ピチカート・ファイブ	7.5%
西野カナ	7.0%

3. 渋谷を最も象徴するものとして「ハチ公銅像」をあげた人が 5 割近く 最も良い待ち合わせ場所でも「ハチ公銅像」が 61.6%と圧倒的 1 位 好きな坂・通りは「スペイン坂」「道玄坂」「センター街」

続いては、物や場所、施設についての質問です。最も渋谷を象徴するものとしては「ハチ公銅像」が 46.3%とほぼ半数の支持を得て 1 位になりました。2 位は 29.3%を占めた「スクランブル交差点」で、この二つが抜けた存在になっています。【表④】

「渋谷の待ち合わせ場所」として最も良いと思うところについても聞いていますが、ここでも「ハチ公銅像」が 61.6%と圧倒的な支持を得て 1 位になりました。2 位には「渋谷ヒカリエ」が入っており、開発が進む渋谷を感じさせる部分も見えます。【表⑤】

さらに渋谷といえば様々な坂や通りが観光名所になるほど有名ですが、最も好きな坂・通りについても聞いてみたところ、1 位は「スペイン坂」、2 位は「道玄坂」、3 位「センター街（バスケットボールストリート）」とこの 3 つが飛びぬけて高い数字になりました。【表⑥】

【表④】最も渋谷を象徴するものトップ 5 n=800

目的	占有率
ハチ公銅像	46.3%
スクランブル交差点	29.3%
SHIBUYA 1 0 9	8.3%
センター街（バスケットボールストリート）	3.3%
タワーレコード	2.1%

【表⑤】渋谷の待ち合わせ場所として最も良いところトップ 5 n=800

目的	占有率
ハチ公銅像	61.6%
渋谷ヒカリエ	7.8%
モヤイ像	6.9%
SHIBUYA 1 0 9	5.5%
青ガエル（駅前の緑色の電車）	5.0%

【表⑥】渋谷で最も好きな坂・通りトップ 5 n=800

目的	占有率
スペイン坂	18.1%
道玄坂	17.3%
センター街（バスケットボールストリート）	17.0%
宮益坂	9.3%
Bunkamura通り	7.4%

4. 「〇〇の渋谷」、〇〇に最も入るものとして最も多かったのは「若者の街」 10 年前と比べて渋谷のイメージに変化を感じている 30 代以上が過半数越え

最後に、あなたが思う「〇〇の渋谷」の〇に入るキーワードについて最も当てはまるものについての質問では「若者の街」との答えが 44.4%を占めました。【グラフ②】

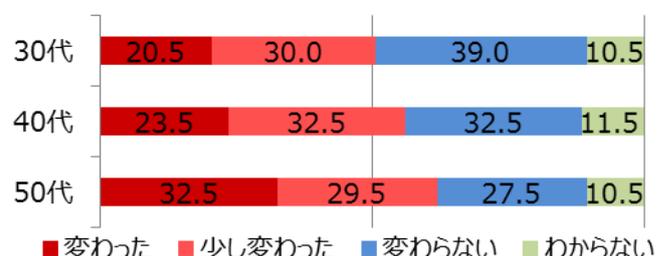
しかし、そこには変化も見られるようで、30 代以上に渋谷のイメージが 10 年前と比較して聞くと、多少なりとも変わったとの答えが過半数を越えています。特に 50 代では 6 割を越えました。【グラフ②】

自由回答で寄せられた変化の内容を見てみると「若者の街から大人の街に変わりつつある。」（40 代男性/東京）、「昔より少し大人も落ち着けるイメージに変わった。以前はとびなファッションの若者が多かったけれど、大人の場所が増えて、私でも行きやすくなった。」（50 代女性/東京）、「若者の街という印象だったが、マークシティやヒカリエができて、大人っぽいイメージができてきた」（30 代女性/神奈川）、など「若者の街」から「大人も楽しめる街」への変化も見られるようです。

【表⑦】〇〇の渋谷 n=800

目的	占有率
若者の街	44.4%
流行・文化発信基地	25.1%
ファッション	14.6%
繁華街	5.4%
音楽	3.4%

【グラフ②】渋谷のイメージが 10 年に比べて変化 n=各 200



= 渋谷パラダイス（シブパラ）概要 =



今回で 45 回目を迎える「渋谷パラダイス（通称：シブパラ）」とは、渋谷駅ハチ公前広場で実施される、渋谷商店街主催によるイベント。

今年は「チャレンジ！対決！チームワーク！」をテーマに開催。渋谷駅ハチ公前広場に設置された特設ステージでは、フレッシュなアーティストやアイドルのパフォーマンスを楽しむ「アーティストライブ」や、昨年の「サンリオキャラクター大賞」で 1 位となったポムポムプリン他、キャラクターとのフォトセッションが楽しめる「サンリオイベント」、最新採点機器でカラオケの得点を競う「ハチカラ」、シブパラのガイドマップを対象飲食店に持って行くと、限定メニューや割引サービスが楽しめる「渋谷 BAR」などを実施。

再開発真っ只中の渋谷を町全体で盛り上げる！

～4月29日はORICON DAY～

POP UP LIVE by ORICON STYLE

新人アーティストによる、音楽ライブを渋谷ハチ公前広場ステージにて開催！

- 14：00～ ハイパーモチベーション
- 14：25～ FUKI
- 15：00～ 野水いおり
- 15：25～ TONEAYU
- 15：50～ SAKU

開催日	2016年4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）
主催	渋谷パラダイス実行委員会／渋谷道玄坂商店街振興組合 渋谷地下商店街振興組合／渋谷宮益坂商店街振興組合 東急本店前商店会／渋谷中央街
後援	渋谷区／一般財団法人 渋谷区観光協会／NPO 法人グリーンバード
特別協賛	レノボ・ジャパン株式会社
メディア協力	ORICON STYLE
協力	株式会社 サンリオ／株式会社 第一興商
場所	渋谷駅ハチ公前広場

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 oricon ME 担当：明石

TEL 03-6447-0570／FAX 03-3470-0626 e-mail：cominfo@oricon.jp